

✓ 足がむくむ
 ✓ 足がつる
 ✓ 血管が浮き出る
 それは



か し じょう みやく りゅう
下肢静脈瘤 かもしれません

- 下肢静脈瘤は、足の血管が瘤(コブ)になる病気で、日本人の10人に1人、出産経験のある女性の2人に1人が発症するといわれています
- 命の危険はありませんが、自然に改善・治癒することはなく、生活の質の低下を招きます

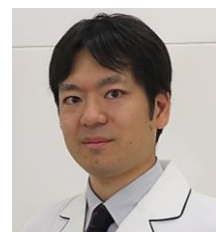


当院では、下肢静脈瘤外来を開設し、心臓血管外科の指導医・専門医を中心に複数名の医師が、最新の医療機器による検査をもとに、診断・治療をおこなっています。症状がある方はお気軽にご相談ください。

下肢静脈瘤外来

	月	火	水	木	金
午前	●	●	●	●	●
午後	●			●	

診療時間 午前 8:45~12:30 (受付時間 8:30~11:00)
 午後 13:30~17:30 (受付時間 13:00~15:30)



【医師プロフィール】

心臓血管外科 医長 関 達也

下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の
 実施基準による実施医・指導医

ご予約・お問い合わせはこちら



医療法人 春林会
華岡青洲記念病院
 Hanaoka Seishu Memorial Hospital
 札幌市豊平区美園3条5丁目3番1号



【ホームページ】

TEL 011-350-5858

予約受付時間

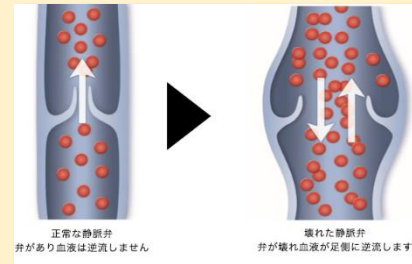
月曜日～金曜日 8:45～17:30
 土曜日 8:45～12:00

ご予約の際にこのパンフレットを見たとお申し出頂くとスムーズです



か し じょう みやく りゆう 下肢静脈瘤 とはどんな病気？

静脈は心臓に向かって血液が帰っていく道です。通常は一方通行で、逆流しないようにところどころに弁がついていますが、この弁が壊れてしまい、静脈血が逆流しているのが静脈瘤という病態です。重力で静脈の血液は体の足側に集まり、圧力で静脈がどんどん膨らんでいきます(図1)。血液が心臓に帰っていくという静脈の機能が損なわれるためにいろいろな症状が出ます。

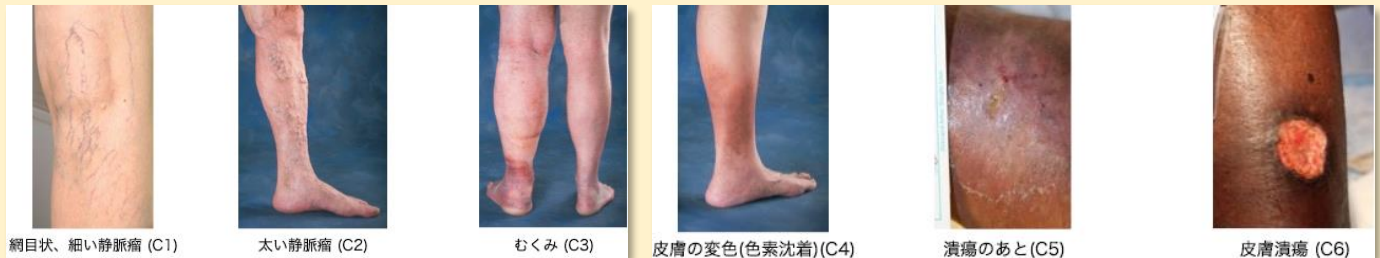


(図1)

■ 症状

下肢静脈瘤では、足のむくみ、だるさ、ほてり、夜間の足のつり、痛み、色素沈着(くるぶし付近の茶色っぽい変色)、湿疹、潰瘍(皮膚がジュクジュクする)などの症状があります。まれに静脈瘤の中に血の塊ができて、痛みが出ることがあります(血栓性静脈炎)。

<下肢静脈瘤の重症度別分類>



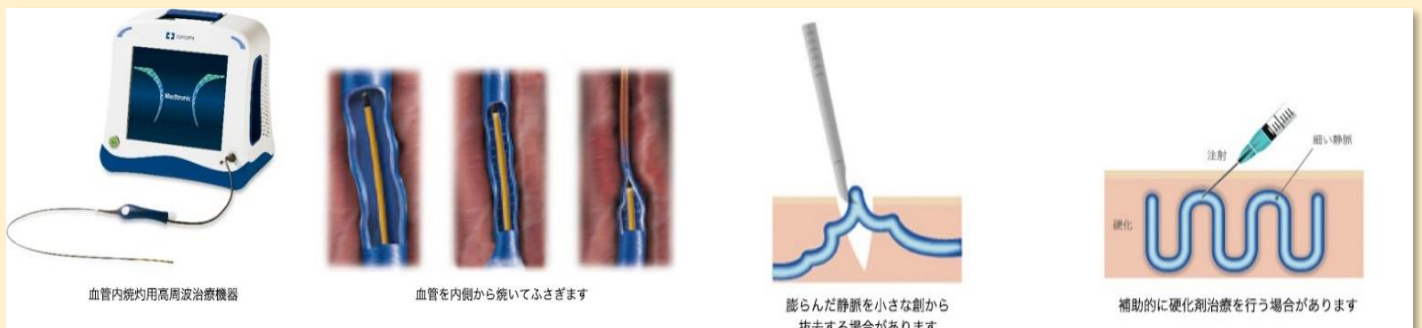
一般的にC1は硬化療法、C2-6は手術による治療が選択できます

■ 検査

下肢静脈瘤の治療を正しく行うには、詳しく症状をお聞きし、超音波検査(エコー検査)をします。血液の流れを見ることで逆流する時間などもわかります。専門性の高い超音波検査技師や医師が十分な体制のもと検査にあたります。

■ 診断・治療

静脈瘤は良性疾患で生命に関わることはほぼありませんが、外見が気になる、自覚症状があつて辛い、足に色素沈着や潰瘍があるなどの場合には治療をお勧めしています。治療が必要な場合は治療法について希望を伺います。当院で行っている血管内高周波焼灼治療は、健康保険の適応となっています。また静脈瘤切除や硬化療法などの補助治療も行っています。治療は日帰り治療を基本としていますが、遠方の方には入院も検討可能です。



下肢静脈瘤はたくさんの方が悩んでおられます
当院では最適な医療を提案し、体に負担の少ない治療を提供いたします